両国 学校だより
http://www.sumida.ed.jp/ ryogokusho/
令和８年１０月３０日
墨田区立両国小学校
墨田区両国４－２６－６
TEL ３６３４－７８７６

学びを支える光✧

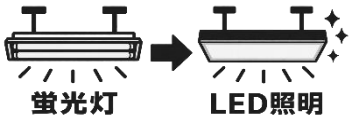
副校長 手山 晃洋

社会の変化の実感

先日、テレビから「わが社は蛍光灯の生産を終了します。」というコマーシャルが流れてきました。それを見て、蛍光灯から LED 照明へと移り変わる時代の流れを改めて感じました。ちょうど我が家でも、キッチンの蛍光灯が切れたため LED 照明に交換したところであり、家庭や街の様々な場所で LED 化が進んでいることを実感しています。

冬、LED 化工事実施

本校でも、この冬、墨田区教育委員会の計画により校舎内の照明を LED に交換する工事が行われます。普通教室や特別教室、廊下など校舎内のほぼ全ての照明が対象となり、交換台数は 577 台に上ります。工事は、子供たちの学習への影響をできるだけ少なくするため、主に土曜日や日曜日、冬季休業期間中に実施される予定です。



落ち着いた学習環境

LED 照明には、消費電力が少なく長期間使用できるという特長があります。また、点灯後すぐに安定した明るさとなり、ちらつきも少ないため、文字や教材が見やすくなります。明るさ自体が大きく変わるわけではありませんが、子供たちが落ち着いて学習に取り組める環境づくりにつながることが期待されます。さらに、省エネルギー化や資源の有効活用の面からも、大きな意義のある取組です。

「人」「もの」「お金」による支え

学校教育というと、授業や学校行事、教職員による指導などが思い浮かびます。しかし、教育はそれだけで成り立っているわけではありません。子供たちに関わる教職員や地域の方々などの「人」、校舎や教材、設備といった「もの」、そして、それらを整え維持するための「お金」が支え合うことで、毎日の学校生活や学習活動が成り立っています。今回の LED 化工事には、種類によって多少の差はありますが、照明 1 台当たり約 4 万円、総額では約 2,308 万円の費用がかかる予定です。

物を大切にする心を

私たちが当たり前のように使っている教室の照明や机、椅子、黒板、タブレット端末なども、多くの人々の支えや時間、費用によって整備されてきたものです。学校には、それらを有効に活用し、大切に使い続けていく責任があります。また、子供たちにも、身の回りの設備や学習用具が多くの人の支えによって用意されていることに気付き、物を大切にする心を育んでほしいと願っています。

校舎を照らし未来を照らし

学校ではこれからも、施設や設備を適切に管理し、限られた資源を有効に活用しながら、子供たちが安全に、安心して学べる環境づくりに努めてまいります。この冬、新しくなる LED 照明が校舎を明るく照らすだけでなく、その光が子供たちの学びを支え、物を大切にする心や未来への希望を育むきっかけとなることを願っています。